

中辺路統合版



熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、潮垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を還拝し、また和歌会や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子社の中でも海南市の藤代王子社、印南町の切部（切目）王子社、上富田町の稲葉根王子社、田辺市中辺路町の滝尻王子社、田辺市本宮町の発心門王子社は、五駄王子社として特に格式が高いといわれています。

上皇・法皇の御幸とともに栄え、衰退していましたが、足利將軍家、紀州徳川家により復元や遺跡保存が行われました。

- 旅のお問い合わせは
- 田辺市観光振興課・田辺観光協会
TEL.0739-26-9929

■(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー
TEL.0739-26-9025

■上富田町振興課・観光協会
TEL.0739-47-0550

■大塔観光協会
TEL.0739-48-0301

■中辺路町観光協会(熊野古道館)
TEL.0739-64-1470

■(公社)和歌山県観光連盟
TEL.073-422-4631

■和歌山県観光振興課
TEL.073-441-2424

■新宮市観光協会
TEL.0735-22-2840

■新宮市商工観光課
TEL.0735-23-3333

■那智勝浦町観光案内所
TEL.0735-52-5311

■那智勝浦町観光企画課
TEL.0735-52-2131

■熊野本宮観光協会
TEL.0735-42-0735

R8年4月改訂

地球環境保護のために、再生紙と植物油インクを使用しています。

VEGETABLE OIL INK

紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

和歌山県街道マップ
熊野古道

中辺路 紀伊田辺～熊野本宮大社
赤木越・大日越
熊野速玉大社～熊野那智大社
大雲取越・小雲取越・かけぬけ道

- 紀伊田辺
↓
滝尻王子
・
潮見峠
↓
滝尻王子
↓
継桜王子
↓
熊野本宮大社
・
赤木越
↓
大日越
- 熊野速玉大社
↓
那智
↓
熊野那智大社
↓
大雲取越
・
小雲取越
・
かけぬけ道



田辺市の潮垢離浜で身を清め、出立王子に参り、心新たに中辺路の山中へとわけいります。ここ田辺市は中辺路と大辺路の分岐点でもあります。三栖王子から西行法師ゆかりの八上王子を経て、藤原定家の『熊野御幸記』に五駄王子と記されている稲葉根王子からは岩田川（現・富田川）に沿って上流の滝尻王子へと向かいます。この川を歩いて渡ることが禊ぎであり、藤原宗忠は19回も渡河を重ねています。『平家物語』の平重盛等のエピソードや『義経記』にも記述があり、重要な垢離の川でありました。後鳥羽上皇の側室、修明門院が承元4年（1210）の御幸の時、前夜からの大風雨をおして無理に渡河し、9人も溺死するという史実は、まさに難行苦行の苛酷さを物語っています。国道311号の北郡トンネル入口付近から左の山上に登る道が熊野古道ですが、清姫茶屋から真砂の里の対岸の辺りにも熊野古道があったと推定されます。

一方、三栖王子の手前から真東に向かい、長尾坂を登り、横山の山腹を縫って、潮見峠を経て、中辺路町栗栖川に至る道が「潮見峠越」です。1日も早く熊野の湯につかり、三山にお参りしたいという一般庶民が歩いた近世の熊野古道です。熊野への最短コースでありました。



ルートその1【P6へ】
紀伊田辺駅～稲葉根王子

田辺で海回りの大辺路と分かれた古道は、いよいよ山また山の中辺路へと入り、一路熊野本宮大社をめざします。このコースは、中辺路の入口にあたり、田辺市から上富田町にかけての緩やかな丘陵沿いに進みます。

田辺市東部の秋津・万呂・三栖といった王子社をめぐり、岡の峠を越えれば上富田町。「西行」ゆかりの八上王子、「南方熊楠」ゆかりの田中神社等、歴史と文化に彩られた史蹟に立ち寄りながら歩きます。

コースの最後は、昔の旅人が聖水と崇めた富田川沿いに鎮座する稲葉根王子社。聖水で身を清める「水垢離」が盛んに行われた、別格の五駄王子社です。



高山寺



秋津王子



三栖王子



八上神社

ルートその2【P8へ】
稲葉根王子～滝尻王子

稲葉根王子から清らかな流れの富田川に沿って通り、田辺市中辺路町滝尻王子へと向かいます。現世の不浄を清めると考えられた富田川を、旅人は何度も渡りながら遡ったといわれ、それを証明するかのように、このコースでは王子社が川の北側・南側と交互に現れます。後半は富田川沿いの気持ちのよい地道に導かれ、いよいよ中辺路町へ。

清姫生誕の地といわれる真砂の里を過ぎると、程なく滝尻王子に到着。ここは、現世と熊野の神々が籠もる聖域との境であり、古道を行く人々の要所となったところです。



五駄王子・稲葉根王子



住吉神社



清姫の墓所

ルートその3【P10へ】
潮見峠下三栖バス停～現橋

富田川沿いに遡るルートに対し、田辺市三栖王子の手前から方向を真東にとり、横山（標高796m）の山麓を越え、中辺路町栗栖川に抜けるルートが、「潮見峠越」です。

登りも下りも非常に険しいコースではありますが、〇熊野といわれた田辺市から熊野三山の聖域のはじまりとされる滝尻王子までを最短で結ぶルートとして、主に近世になって開けられました。コース途中には、昔ながらの石置や名号碑、茶屋跡をはじめとして古道の面影を留めた箇所も多く、捻木の杉といわれる清姫ゆかりの大木や、紀伊水道の眺望などが、旅人をもてなしてくれます。



潮見峠

和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に製作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご活用ください。
 - 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ (<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>) の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。
- 登山届について
- 万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
 - ・問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ（弁当がらや空き缶・ペットボトル等）は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。

滝尻王子は熊野御山の聖域のはじまりです。ここからの急坂の途中には藤原秀衡ゆかりの「乳岩」や「胎内くぐり」があり、これらは熊野の神々（自然）の霊力を語るものとして、信仰の山の象徴といえます。高原の里からは山中深く分け入り、大坂本王子へと下り、熊野古道のシンボルである箸折峠の牛馬童子の石像へと続きます。近露の里を眺めながら坂を下り、四万十川に勝るとも劣らない日置川を渡ると近露王子に到着です。温泉もあり、ここで一泊して本宮へと向かうのが一般的です。ここから野中の一方杉や清水のある継桜王子、小広峠から草鞋峠の女坂、岩神峠への男坂、せせらぎの音に身も心も洗われる湯川王子のある道湯川の集落跡から一越、二越、三越して三越峠へ至ります。ここから、いよいよ奥熊野へと入ります。発心門王子・水吞王子と進み、和泉式部ゆかりの伏拝王子では熊野本宮大社旧社地、大斎原が望まれ、思わず伏し拝みたくなる風景が広がります。

赤木越は船玉神社付近から湯の峰温泉へ、大日越は湯の峰温泉と熊野本宮大社を結ぶ古道です。



古くは熊野本宮から新宮(熊野速玉大社)へは、熊野川を舟で下りました。神倉山の磐座であるゴトビキ岩に降臨した熊野権現が、後に熊野速玉大社に移られたため新宮と呼ばれます。毎年2月6日のお燈まつりが有名です。新宮からは浜王子で王子ヶ浜の海岸に出て、高野坂の絶景をめでながら浜の宮王子・補陀洛渡海で有名な補陀洛山寺へと向かいます。熊野古道はここから那智川に沿って那智山へと進み、途中大杉群の中にある大門坂を登りつめると熊野那智大社、那智山青岸渡寺への参道です。那智の滝も一望の下にあります。

那智山青岸渡寺の裏手の長大な石段が大雲取越への古道です。途中から妙法山へ向かうかけぬけ道と分かれます。那智山から再び本宮へと戻るこのコースは酷しい山坂の連続であり、亡者の霊魂が通ったという「死出の山路」から「亡者の出会い」への道は、うっそうとして、幽妖な雰囲気漂っています。南方熊楠が「ダル」にとりつかれたというのもなづけます。大雲取は文字通り、雲をつかむような熊野古道随一の難所、舟見峠で熊野灘の眺望を楽しむ余裕もなく、越前峠に達します。小雲取越には「賽の河原」もあり、熊野が「隠国(こもりく)」,つまり霊魂の籠もる地であることを実感します。しかし生きながら難行苦行してこの「黄泉の国」で生まれ変わって「甦り」(黄泉の国からかえる事)、感謝の日々を過ごせること請け合いの請川で大雲取越・小雲取越の旅は終わりを迎えます。



ルートその1【P12へ】 滝尻王子～継桜王子

平安貴族の藤原宗忠が、「はじめて(熊野権現の)御山の内に入る」と記した滝尻王子にはじまるこのコースからいよいよ熊野三山の聖域に入ります。このコースの特徴はアップダウンが激しいこと。スタート地点の滝尻王子と、最高地点の上多和茶屋跡は約600mの標高差があり、滝尻王子からいきなりの急坂が旅人を驚かせます。

そんな厳しいコースの途中には、藤原秀衡ゆかりの「乳岩」、熊野古道中辺路で最古の社殿が残る「高原熊野神社」、西国観音霊場中興の祖「花山法皇」の旅姿を模したといわれる「牛馬童子像」等様々な見所があり、暫し疲れを忘れさせてくれます。

本宮の手前最後の宿所とされた近露の里で宿泊し、南方熊楠翁の手により見事な杉林が残る野中に至る、本格的なコースです。



牛馬童子像



近露王子



五鉢王子・滝尻王子



乳岩

ルートその2【P16へ】 継桜王子～熊野本宮大社

見事な杉林が残る、野中をスタートし小広峠から少し古道に分け入れば、そこはもう「木の国」紀州ならではの大森林が広がります。熊野本宮大社に向けて全体的には下りのルートとなりますが、途中「草鞋峠」「岩神峠」「三越峠」等の難所が待ち構えています。

それらの難所を越え、熊野本宮大社の神域の入口とされる別格の「発心門王子」、高台から熊野本宮のお社を一望した旅人が、有難さのあまり平伏し拝んだといわれる「伏拝王子」等本宮町内の王子社をめぐって「熊野本宮大社」へ。遠く、苦しい道程を経て大社への参拝を果たした、昔の旅人の感動を追体験してい

ただけることでしょう。この区間沿道の小広峠～熊野本宮大社間は公共交通機関が極めて不便な区間ですので、事前に十分な計画をたてておくことが必要です。



日本名水百選のひとつ野中の清水



五鉢王子・発心門王子



伏拝王子から大斎原を望む

ルートその3【P20へ】 赤木越 船玉神社～湯の峰温泉

滝尻王子社と熊野三山を結ぶ熊野御幸メインルートの途中、三越峠から分岐して湯の峰温泉経由で熊野本宮大社に向かうルートが赤木越で、近世には頻繁に利用されたルートです。現在は三越峠から音無川の源流の谷道を下った船玉神社手前から植林帯を右に登るルートが分岐しており、なべわれ地藏や柿原茶屋跡を途中に見ながら、日本最古の温泉といわれる湯の峰温泉へと下ります。



赤木越

ルートその4【P21へ】 大日越 熊野本宮大社～湯の峰温泉

「熊野本宮大社」から大社の旧社地である「大斎原(おおおのほら)」を通過して熊野参詣の旅人の「湯垢離場」として賑わった「湯の峰温泉」へと抜けるルートです。コースは約2kmと短いものの、大社側には厳しい登りが立ちほだかり、短い間に、月見ヶ丘神社、峠の鼻欠地藏、湯峯王子等の見所も点在する本格コースで、是非本宮町内に宿泊して歩きたいコースです。



鼻欠地藏

ルートその1【P22へ】 熊野速玉大社～那智駅

やっとの思いで熊野本宮大社にたどり着いた熊野詣の旅人は、本宮からは熊野川を舟で下り熊野速玉大社へと向かいます。ここで再び陸路をとり、熊野三山最終の熊野那智大社へと向かったルートがこのコースです。

新宮市内は中世の海沿いのルートと、近世のルートに分かれますが、古道の名所として知られた高野坂の手前で合流し、高野坂からの熊野灘の絶景を眺めて新宮市三輪崎へ向かいます。ここから古道は、海沿いに佐野・宇久井を経て、補陀洛浄土への玄関口とされた那智の浜へと向かいますが、この区間の古道は推定が難しく、国道を歩く区間も少なくありません。車等には充分注意して歩いてください。



熊野速玉大社



高野坂

ルートその2【P24へ】 那智駅～熊野那智大社

ブルービーチ那智から程なくの所にある、浜の宮王子・補陀洛山寺を起点として、那智川に沿って熊野那智大社・那智山青岸渡寺へと向かいます。途中、井関地区では山林の中を行く自然道となり、市野々王子を経て古道はいよいよ熊野那智大社への参道である大門坂へ。樹齢八百年といわれる夫婦杉が長い道程の苦労をねぎらってくれます。見事な杉が立ち並び大門坂の途中には、熊野九十九王子最後の王子社である「多富気王子」があり、ここを過ぎれば程なくで、最終目的地である「熊野那智大社」「那智山青岸渡寺」に到着。これまでの疲れも、熊野詣を果たした心地よい達成感によって拭い去られることでしょう。



大門坂



熊野那智大社

ルートその3【P28へ】 大雲取越 熊野那智大社～小口

熊野詣を終えた旅人は、背後に聳える那智・妙法の山を登り、雲の中を行くがごとき、大雲取・小雲取を越えて本宮へと戻ります。那智山青岸渡寺の裏手から、那智高原を越え、その名の通り、熊野灘を一望できる「舟見峠」へと登った後、死者が赴くといわれる標高約800～1000mの熊野の山塊を進みます。人跡稀な石倉峠、越前峠、胴切坂等の険しいルートの途中には旅籠跡・茶屋跡が点在し、今も旅人の心を和ませてくれます。熊野三山の神々が集まって談笑した場所といわれる「円座石」を過ぎれば、程なくでゴールの小口に到着。清流「赤木川」沿いに開けたこの集落は、大雲取と小雲取の中継点として賑わった所です。



わろうたけし
円座石



百間ぐら



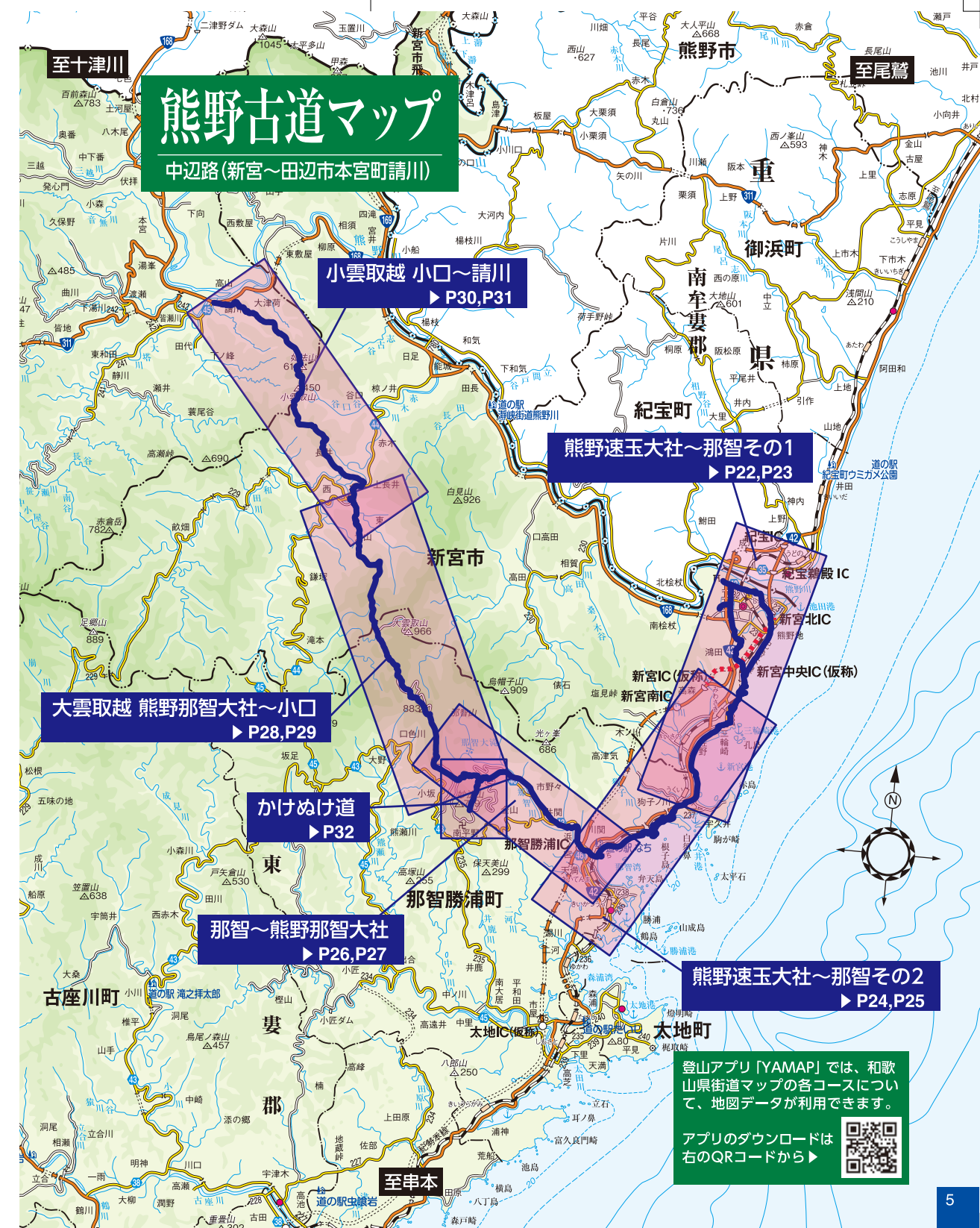
熊野川(田辺市本宮町請川)

ルートその5【P32へ】 かけぬけ道

かけぬけ道は、熊野那智大社から熊野本宮大社へと向かう大雲取越から分岐して、妙法山阿弥陀寺へ向かうルートです。那智山青岸渡寺の裏手の登り口から大雲取越を10分ほど歩くと、「左妙法山 大雲かけぬけ道」と書かれた道標があり、ここから妙法山まで石畳と石碑がよく残る、かけぬけ道が続きます。苔むした急な石段を登り女人高野とも呼ばれた阿弥陀寺へ。静かな境内は凛とした雰囲気包まれています。妙法山の頂上付近に行くと、海を見渡することができ、清々しい気持ちになります。

ルートその4【P30へ】 小雲取越 小口～請川

大雲取を下った小口から程なくの「小和瀬」の集落が小雲取越ルートの起点となります。厳しい登りが続く桜峠を越えると、自然林の中を行く比較的平坦な尾根道となり、ゴールの本宮町請川まで快適なハイキングをお楽しみいただけることでしょう。コース中程にある「百間ぐら」は、山深い紀伊半島の果ての無い峰々を眺望できる名所。ゆっくりと休憩して眺めを堪能したいスポットです。「百間ぐら」から徐々に下って熊野川が前方に開けると、程なくでゴールの請川に到着です。



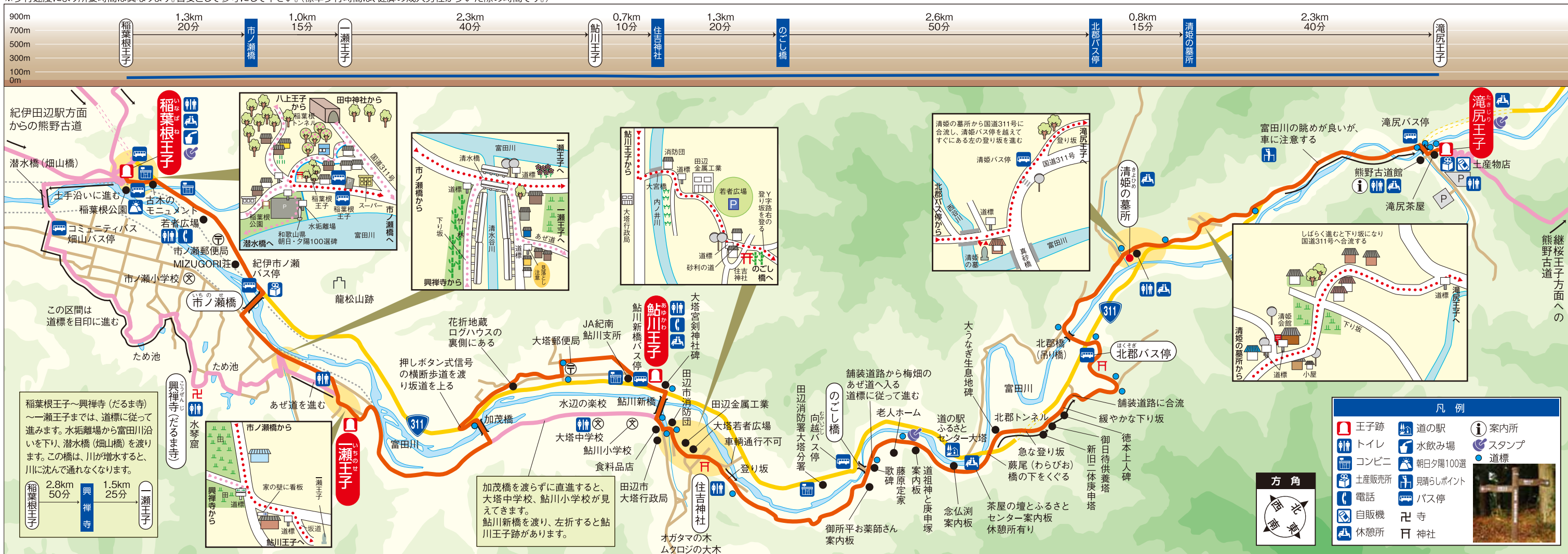
いなばね たきじり 【稲葉根王子（上富田町）～滝尻王子（田辺市）】

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。（標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。）

歩行距離 12.3km（市ノ瀬橋・加茂橋経由）
標準歩行時間 3時間30分（市ノ瀬橋・加茂橋経由）
標準所要時間 4時間40分（市ノ瀬橋・加茂橋経由）

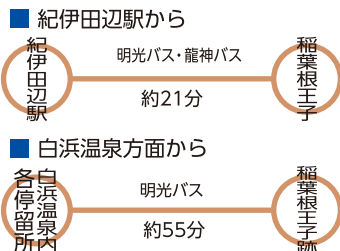
稲葉根王子から北郡越を通り滝尻王子へ、五躰王子を結ぶルート。
聖なる富田川（岩田川）の流れに沿い、熊野の聖域の入口滝尻へと向かいます。

稲葉根王子からは、市ノ瀬橋を渡り直接一瀬王子へ向かうルートと、潜水橋を渡り興禅寺を経て一瀬王子へ至るルートがあります。住吉神社を過ぎると川沿いの道になり、藤尾（わらびお）橋をくぐり北郡トンネルを越える山越えになります。この間は車道から分かれ、地道の気持ちのよい道が続きます。清姫の墓所を過ぎれば、ほどなく熊野の聖域の入口とされる滝尻王子に到着。併設の熊野古道館にも是非立ち寄ってください。



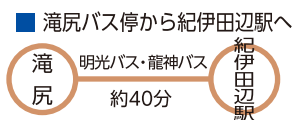
スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは、明光バス「栗栖川行」・「本宮大社行」又は龍神バス「兜心門王子行」・「本宮大社行」に乗り、「稲葉根王子」バス停で下車（1～2時間に1本の間隔で運行）。白浜温泉からは、明光バス「新宮駅行」で「稲葉根王子」バス停下車。白浜温泉からは、1日2本の運行となりますのでご注意ください。



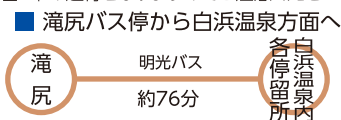
お帰りは

日帰りの場合は、「滝尻」バス停まで歩き、路線バスで「紀伊田辺駅」へ戻ります（1～2時間に1本の間隔で運行）。



宿泊の方は

上富田町内及び車で15分程度の中辺路町栗栖川に宿泊施設があります。また、日帰りの場合と同様の方法で紀伊田辺駅に戻り駅周辺で宿泊するか、明光バスを利用して白浜に出て、白浜温泉に宿泊する方法もあります。白浜温泉方面へは1日2本の運行となりますのでご注意ください。



標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む。市ノ瀬橋・加茂橋経由）

稲葉根王子バス停	稲葉根王子	市ノ瀬橋	一瀬王子
3分	20分	15分	40分
鮎川王子	住吉神社	のごし橋	北郡バス停
10分	20分	50分	15分
(ここで昼食休憩：お弁当)			
清姫の墓所	滝尻王子	熊野古道館を見学し滝尻バス停へ	
40分			
(富田川を眺めながら小休止)			

沿道の花ごよみ

市ノ瀬橋周辺
コスモス…見頃
10月上旬～10月下旬
興禅寺（花の寺）
フジバカマ・アサギマダラ…見頃
10月上旬～11月下旬
ツツジ・シャクナゲ・ボタン・アジサイ等
様々な花が楽しめます。
花の見頃は年により異なる場合があります。

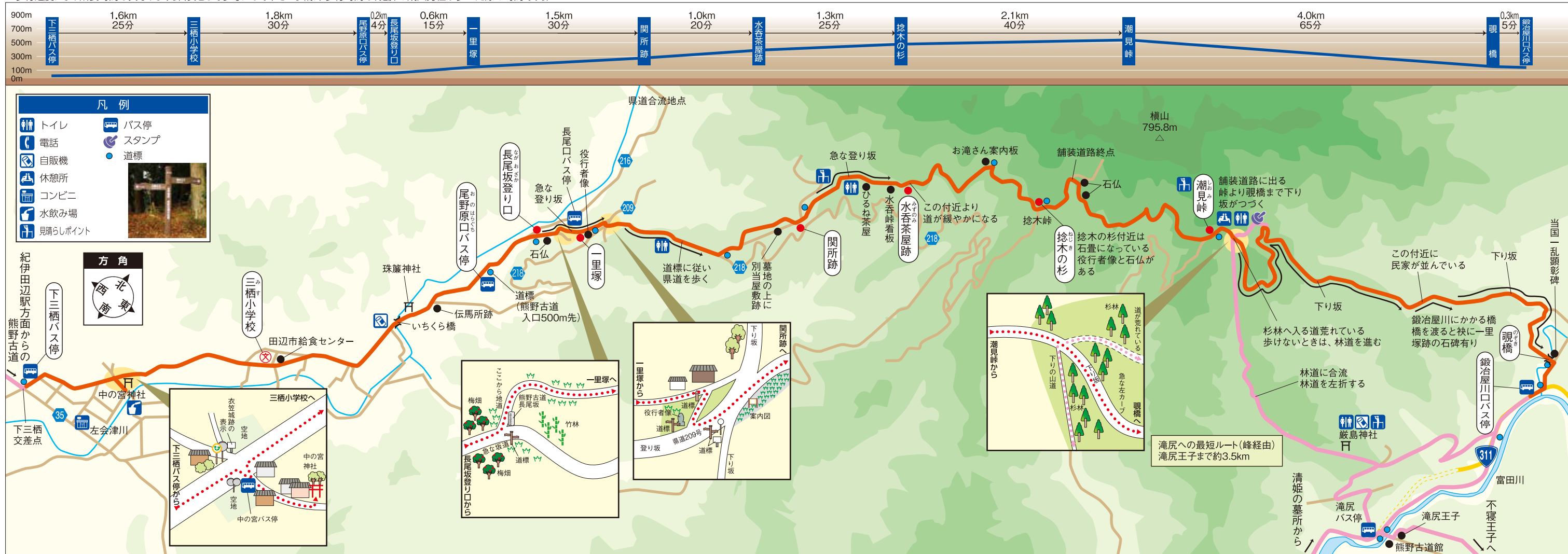
【潮見峠 下三栖～硯橋(田辺市)】

歩行距離 14.4km
標準歩行時間 4時間20分
標準所要時間 5時間35分

長尾坂を通る「潮見峠越」は、近世に入って以降、熊野詣でのルートのひとつとして賑わった時期があります。苔むした道端の石に時代を感じることが出来ます。

尾野原口バス停からすぐのところに長尾坂登り口があります。ここから水呑茶屋跡まで登り坂が続きますが、以後は、潮見峠まで緩やかな山道になります。捩木峠には、清姫伝説として伝えられる捻木の杉があり、万力でねじられたかの様な枝や幹は山の清涼感と合間って神秘的な眺めです。潮見峠からは、下りが延々続くので足下に注意。途中、古道のルートとして、舗装道路から杉林へ入る箇所がありますが、荒れているためそのまま道なりに進む方がよいでしょう。民家が建っている所を越えたら、硯橋が見えてきます。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



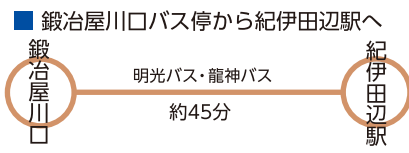
スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは龍神バス長野線に乗車し、「下三栖」バス停で下車。(又は、古道の入口に近い「尾野原口」、「長尾口」バス停で下車)。運転本数は、概ね3～4時間に1本程度(土日は午前・午後の2本のみ。火木は運行なし)。



お帰りは

「鍛冶屋川口」バス停でゴールし、明光バス又は龍神バスを利用して「紀伊田辺駅」へ戻ります(1～2時間に1本の間隔で運行)。



標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。)

下三栖バス停	三栖小学校	長尾坂登り口	一里塚	関所跡	
25分	30分	15分	30分	20分	
(途中の珠簾神社で昼食休憩:お弁当)					
水呑茶屋跡	捻木の杉	潮見峠	硯橋	鍛冶屋川口バス停	
25分	40分	5分	5分		
(ここで休憩)					
(捻木の杉を眺めながら休憩)					

沿道の花ごよみ

沿道各所
梅・・・見頃 2月中旬～3月上旬
花の見頃は年により異なる場合があります。

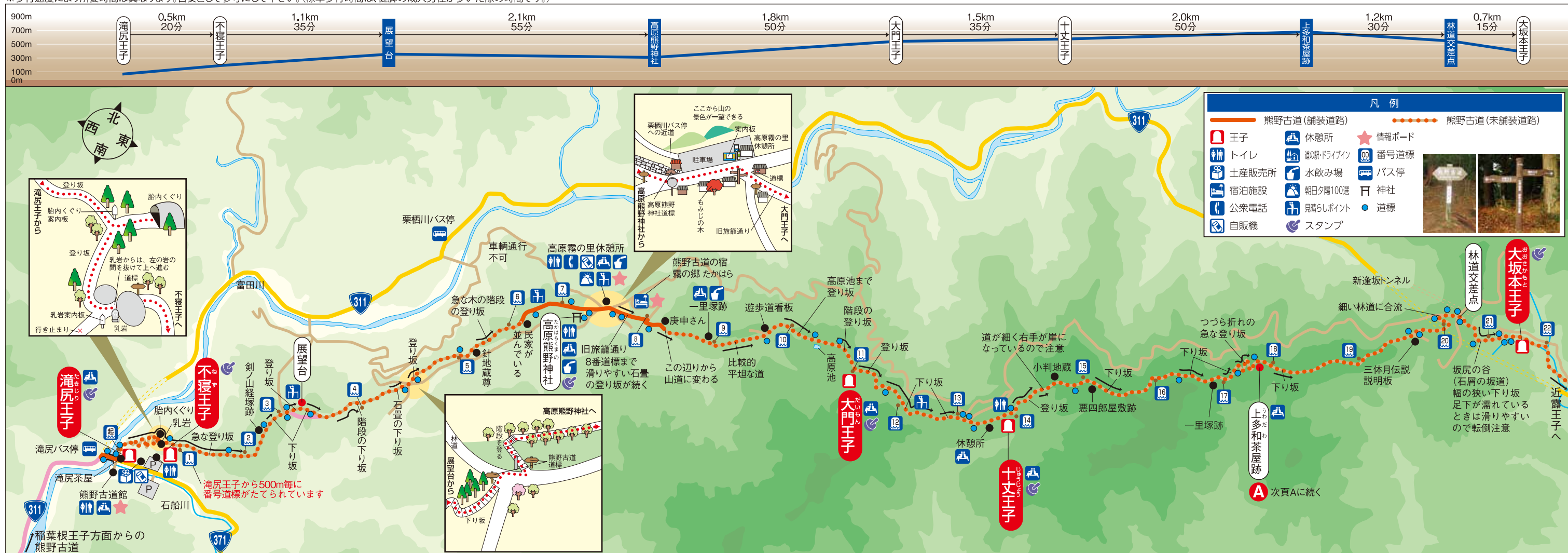
街道マップ「中辺路」潮見峠(下三栖～硯橋)

滝尻王子～継桜王子その1 (P12)

たきじり つぎざくら
【滝尻王子(田辺市中辺路町)～継桜王子(田辺市中辺路町)その1】

歩行距離 18.2km
標準歩行時間 7時間10分(野中一方杉バス停まで)
標準所要時間 9時間40分

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは、明光バス「栗栖川行」・「本宮大社行」又は龍神バス「発心門王子行」・「本宮大社行」・「道の駅奥熊野行」に乗車し、「滝尻」バス停で下車（ほぼ1時間に1本の間隔で運行）。
白浜温泉からは、明光バス「新宮駅行」で「滝尻」バス停下車。白浜温泉からは、1日2本の運行となりますのでご注意ください。

■ 紀伊田辺駅から
紀伊田辺駅 明光バス・龍神バス 滝尻
約40分

■ 白浜温泉方面から
各停留所内 明光バス 滝尻
約70分 (紀伊田辺駅経由)

このコースの歩き方

● **日帰りで2回に分けて歩く**
滝尻～牛馬童子道の駅間、牛馬童子道の駅～野中の清水間を2回に分けて日帰りで歩きます。

●途中で宿泊して歩く
初日に滝尻～近露間を歩き、近露で宿泊。
翌日、近露～野中の清水間、又は次のコー
スの小広峠まで歩いて帰路につきます。

● 次のコースと合わせて一気に歩く

- 1) 歩いた後で本宮町にもう一歩。
初日に海原→近露間を歩き、近露周辺に宿泊。翌日は早朝に大出発して、熊野本宮大社まで一気に歩きます。
- 2) 1) 2日目で歩いた後、そのまま帰路に。
初日に継根王子まで距離をかせぎ、野中まで宿泊。
翌日は早朝に大出発して、熊野本宮大社で宿泊する。
[本宮大社前] バス停 16 時 40 分発が紀伊田辺駅行の最終。[本宮大社前] バス停 18 時 58 分発が新宮駅行の最終です。

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。中辺路町近露で宿泊し、野中の清水まで1泊2日で歩きました。)

1日目	滝 尻	・ ・ ・ ・ ・ 熊野古道館	・ ・ ・ ・ ・ 滝尻王子	・ ・ ・ ・ ・ 不寝王子	・ ・ ・ ・ ・ 展望台	・ ・ ・ ・ ・ 高原熊野神社	・ ・ ・
	1分 (熊野古道を歩く前に古道館を見学)	1分	20分 (急坂の途中で長めの休憩)	35分	55分 (霧の里休憩所で昼食休憩)	50分 (お弁当)	
	・ ・ ・ 大門王子	・ ・ ・ ・ ・ 十丈王子	・ ・ ・ ・ ・ 上多和茶屋跡	・ ・ ・ ・ ・ 大坂本王子	・ ・ ・ ・ ・ 牛馬童子口	(道の駅)	・ ・ ・
	35分	50分	45分	15分	20分		
	・ ・ ・ 牛馬童子像	・ ・ ・ ・ ・ 近露王子	近露王子周辺の旅館・民宿で宿泊	2日目は次ページ			
	10分						

たきじり つぎざくら
【滝尻王子(田辺市中辺路町)～継桜王子(田辺市中辺路町)その2】

歩行距離 18.2km
標準歩行時間 7時間10分(野中一方杉バス停まで)
標準所要時間 9時間40分

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



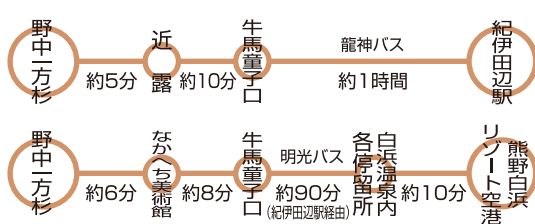
滝尻王子から、いよいよ熊野三山の聖域に入り近露へ、そして野中の清水に至る
ロングコース。いにしえの古道の雰囲気を存分にお楽しみいただけるコースです。

このコース最高地点の上多和茶屋跡から一気に下り、牛馬童子の像を越えると、古道の宿場として栄えた近露へと入ります。王子社跡や野長瀬一族の墓を眺めた後、楠山坂を登って継桜王子へ。この付近には、野中の一方杉や全国名水百選にも選ばれた野中の清水、秀衡桜等多くの見所が点在しています。

お帰りは

「牛馬童子口」、「近露王子」、「野中一方杉」の3箇所から、龍神バス又は明光バスを利用して「紀伊田辺駅」へ戻ることが出来ます。(1日7本程度の運行) 白浜温泉・熊野白浜リゾート空港方面へは、上記の各箇所から、明光バスが1日2本運行しています。

■牛馬童子口・近露・野中一方杉バス停から



宿泊情報

お問い合わせ
中辺路町観光協会
0739-64-1470

近露王子を中心とした近露周辺に、旅館・民宿が点在している他、継桜王子周辺の野中地区にも民宿があります。いずれのお宿も規模は大きくありませんが、地元の食材を使った料理と、親切なおもてなしをモットーにしています。

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。中辺路町近露で宿泊し、野中の清水まで1泊2日で歩きました。)

2日目	近露王子	8分	野長瀬一族の墓	50分	比曽原王子	20分	継桜王子	1分	とがの木茶屋	2分
			(楠山坂を登った所で小休止)				(雄大な野中の一方杉で休憩・萱葺き屋根のお茶屋で写真撮影)			
	野中の清水	20分	野中一方杉バス停		バスで紀伊田辺駅へ					
	(清水周辺で昼食休憩:お弁当)				(注意)野中の清水から徒歩20分程の「野中一方杉」バス停から1日7本バスが運行					

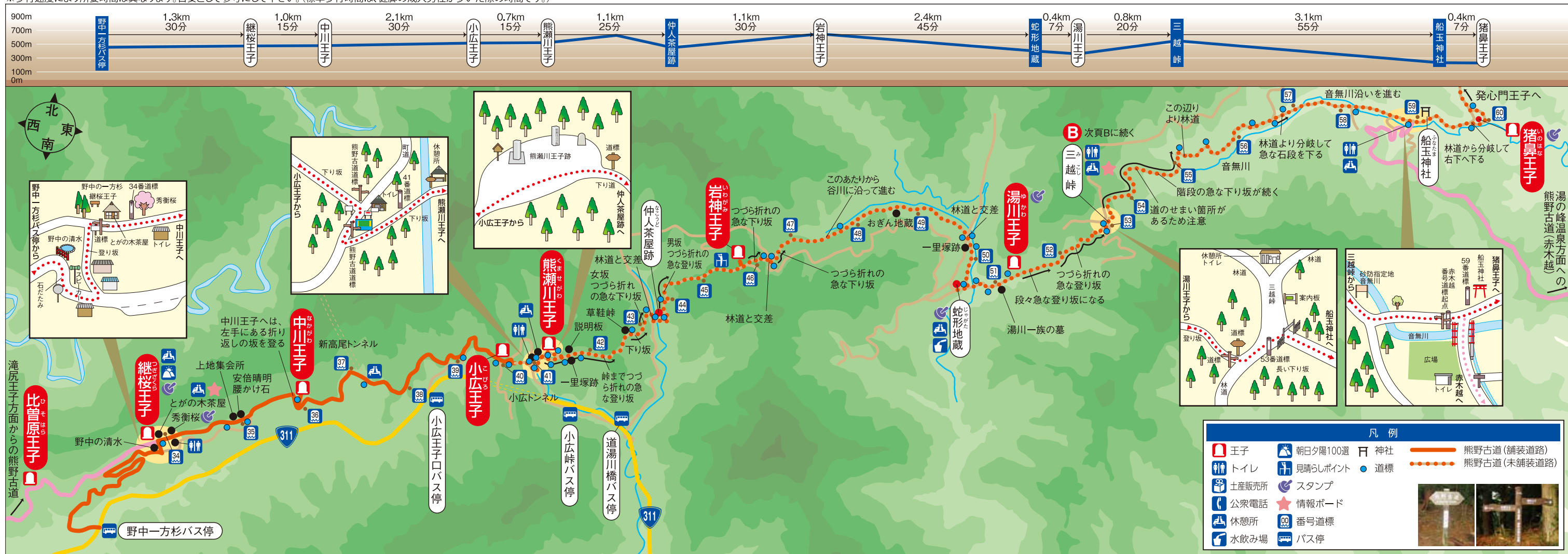
つぎざくら 【継桜王子(田辺市 中辺路町)】～熊野本宮大社(田辺市 本宮町)その1

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 22.1km
標準歩行時間 6時間50分
標準所要時間 8時間50分

野中の清水 から、草鞋峠、岩神峠、三越峠と峠越えを繰り返しながら熊野本宮大社を めざします。古道の雰囲気が色濃く残る、ロングコースです。

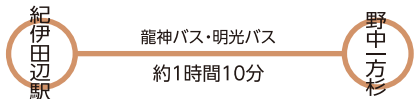
起点となる継桜王子から小広王子までの間は、比較的平坦な旧国道311号を進みます。小広王子からは、いよいよこのコースのハイライト、草鞋峠・岩神峠・三越峠への急峻な道。途中途中に点在する王子跡や、清流を眺めながら進みましょう。小広峠から先は、公共交通機関・宿泊施設が極端に少なくなりますので、一日で一気に歩いてしまう計画をたてるほうが良いでしょう。



スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは龍神バス「発心門王子行」・「本宮大社行」・「道の駅奥熊野行」又は明光バス「新宮駅行」に乗りし、「野中一方杉」バス停で下車。

■ 紀伊田辺駅から



このコースの歩き方

● 野中周辺に宿泊して翌日一気に熊野本宮大社へ

1日目は夕方に野中周辺に入り、ここで一泊。翌日は早朝に出発して熊野本宮大社まで歩きます。「本宮大社前」バス停16時40分発が紀伊田辺駅行の最終。「本宮大社前」バス停18時58分発が新宮駅行の最終です。
(注) このコースは小広峠から先、熊野本宮大社まで公共交通機関が極端に少なくなりますので、注意が必要です。

● 前のコースと合わせて一気に歩く

- (1) 歩いた後で本宮町にもう一泊。
初日に前コースの途中の近露まで歩き、近露周辺に宿泊。翌日は早朝に出発して熊野本宮大社まで一気に歩きます。
- (2) 前コースと本コースを1泊2日で一気に歩く。
初日に継桜王子まで距離をかせぎ、野中で宿泊。翌日は早朝に出発して、熊野本宮大社まで歩きます。「本宮大社前」バス停16時40分発が紀伊田辺駅行の最終。「本宮大社前」バス停18時58分発が新宮駅行の最終です。

標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。)

前日に中辺路町野中入りし、継桜王子周辺で宿泊。翌日熊野本宮大社まで1泊2日で歩きました。)

1日目 紀伊田辺駅から路線バスで野中一方杉バス停に17時30分頃到着

野中一方杉バス停・・・継桜王子横にあるお宿へ 中辺路町野中で宿泊
30分

2日目 継桜王子・・・中川王子・・・小広王子・・・熊瀬川王子・・・仲人茶屋跡・・・岩神王子・・・次ページへ
15分 30分 15分 25分 30分
(秀衡桜も見学) (※仲人茶屋跡～蛇形地蔵間は通行止のため、迂回路を進む。)

つぎざくら
【継桜王子(田辺市中辺路町)～熊野本宮大社(田辺市本宮町)その2】

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 22.1km
標準歩行時間 6時間50分
標準所要時間 8時間50分

野中の清水 から、草鞋峠、岩神峠、三越峠と峠越えを繰り返しながら熊野本宮大社をめざします。古道の雰囲気が色濃く残る、ロングコースです。

猪鼻王子を過ぎ急坂を登ると、五駄王子である発心門王子社。ここから先は、いよいよ熊野本宮大社の神域となります。発心門王子から熊野本宮大社までの間はなだらかな下り坂が中心で、歩きやすく整備されており、昔の旅人が初めて熊野本宮大社の旧社地(大斎原)を望み、有難さにひれ伏し拜んだといわれる伏拝王子等多くの見所が点在しています。これらの見所を過ぎて、いよいよ熊野本宮大社へ。歩いてお詣りしたという達成感をゆっくりと味わってください。



お帰りは

熊野本宮大社でゴールし、「紀伊田辺駅」、「熊野白浜リゾート空港」、「新宮駅」の各ターミナルへの路線バスを利用します。

また、「本宮大社前」発午前中限定で、「五條駅」・「大和八木駅」方面のバスもございます。

■ 紀伊田辺駅へ
本宮大社前 龍神バス・明光バス 約2時間 紀伊田辺駅

■ 白浜温泉・白浜空港へ
本宮大社前 明光バス 各白浜温泉所内 約2時間5分(紀伊田辺駅経由) 約10分 リゾート空港

■ 新宮駅へ
本宮大社前 熊野御坊南海バス・奈良交通 約55分～1時間25分 新宮駅

ご宿泊の方は

本宮町内には、日本最古の温泉ともいわれ、熊野詣の湯治離場としても栄えた湯の峰温泉、大塔川の川原に湧く、野趣溢れる温泉として人気の川湯温泉、大露天風呂が人気の渡瀬温泉と、趣きの異なった3つの温泉があり、それぞれに旅館・民宿が集まっています。

熊野本宮大社からは、熊野御坊南海バス、奈良交通、龍神バスの各バスが、三湯経由の路線バスを運行しています。

お問い合わせ
熊野本宮観光協会 0735-42-0735

標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。
前日に中辺路町野中入りし、継桜王子周辺で宿泊。翌日熊野本宮大社まで1泊2日で歩きました。)

2日目	前ページから	蛇形地蔵	湯川王子	三越峠	船玉神社	猪鼻王子	
	25分	7分	20分	55分	7分	15分	
			(昼食のため小休止:お弁当)				
	発心門王子	水呑王子	伏拝王子	三軒茶屋跡	祓殿王子		
	30分	30分	20分	35分	3分		
	(五駄王子で長めの休憩)	(王子からの眺望を楽しむ)					
	熊野本宮大社	熊野本宮大社に参拝し新宮駅行のバスに乗車。新宮駅経由で大阪方面へ					

あかぎごえ
【赤木越 赤木越分岐(田辺市本宮町)～】
湯の峰温泉(田辺市本宮町)

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



ご宿泊の案内

本宮町内には、趣きの異なった3つの温泉がありますが、このルートの散策には、湯の峰温泉での宿泊が便利です。ハイキングの前日、又はハイキング後に湯の峰温泉で宿泊するのが一般的です。

標準の歩行記録〔参考行程：見学時間等を含む。熊野本宮大社を起点に熊野古道（中辺路街道）を赤木越分岐へ、その後赤木越を通り湯の峰温泉で宿泊〕

熊野本宮大社	・ ・ ・ ・ ・	祓殿王子	・ ・ ・ ・ ・	三軒茶屋跡	・ ・ ・ ・ ・	伏拝王子	・ ・ ・ ・ ・	水呑王子	・ ・
12:00		12:03	12:05	12:45	12:50	13:15	13:25	13:55	14:00
(大社周辺で昼食をとってから出発)						(眺望の名所で休憩)			
・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	猪鼻王子	・ ・ ・ ・ ・	赤木越分岐	・ ・ ・ ・ ・	なべわれ地蔵	・ ・ ・ ・ ・
14:30	14:40		14:50	14:55		15:05		16:05	16:10
(五鉢王子をゆっくり見学)						(いよいよ赤木越に入る)			
・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	湯の峰温泉	湯の峰温泉で宿泊				
16:30	16:35			17:20					

【だい にち 越】 熊野本宮大社（田辺市本宮町）～
湯の峰温泉（田辺市本宮町）

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



ご宿泊の案内

本宮町内には、趣きの異なった3つの温泉があります。このルートの散策には、湯の峰温泉での宿泊が便利ですが、徒歩約30分で渡瀬温泉へ、約45分で川湯温泉へお越しいただくことが出来ます。

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。熊野本宮大社を起点に大日越へ、その後湯の峰温泉で宿泊)

熊野本宮大社	大斎原	大日越登り口	月見ヶ丘神社
10分	5分	20分	10分
(大社旧社地をゆっくり見学)		(急坂の途中で小休止)	
・鼻欠地蔵	湯峯王子	湯の峰温泉 (つぼ湯)	散策後湯の峰温泉で宿泊
20分	5分		

くまのはやたまたいしゃ 【熊野速玉大社(新宮市)～那智駅(那智勝浦町) その1】

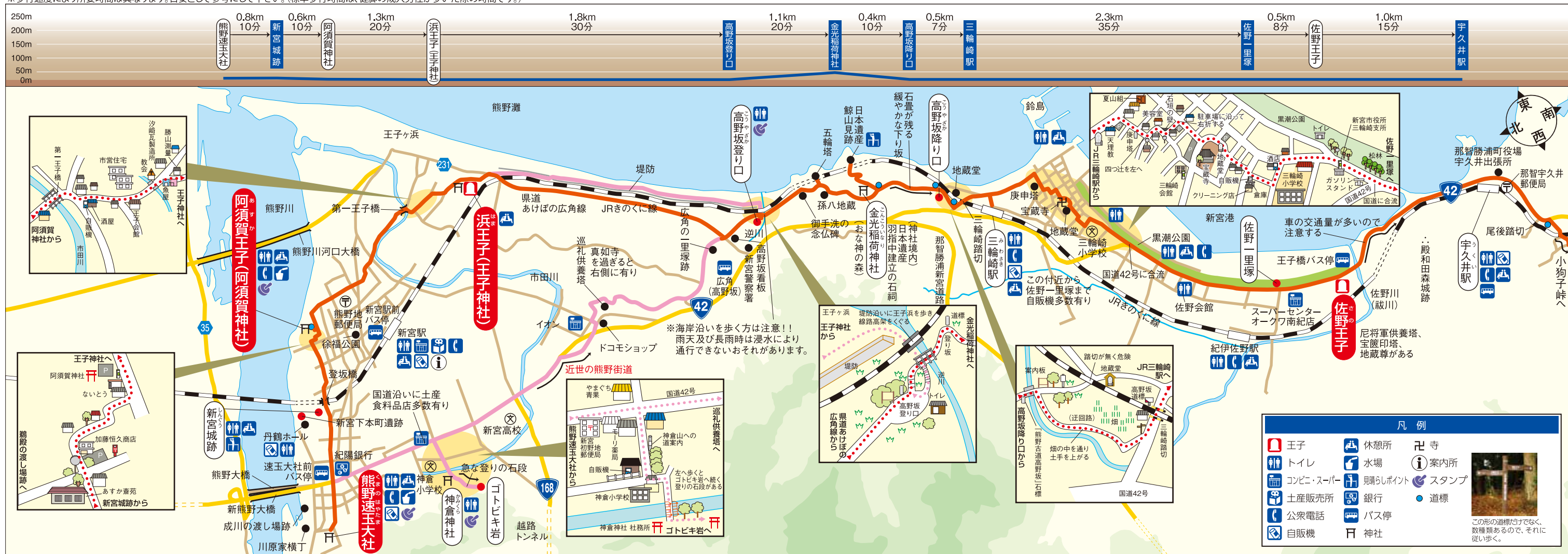
※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 14.8km
標準歩行時間 4時間03分
標準所要時間 6時間25分

熊野速玉大社と
古道の雰囲気が

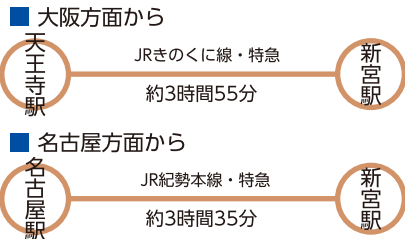
熊野那智大社を結ぶメインルート。新宮の高野坂では、
色濃く残り熊野灘の眺めも堪能していただけます。

熊野本宮大社から熊野川を舟で下り、熊野速玉大社に参拝した後、古道は海沿いの道を熊野那智大社へと向かいます。阿須賀神社、王子神社等の見所を経由し、古道はいよいよこのコースのハイライト、高野坂へと向かいます。高野坂では、苔生した石畳や熊野灘の雄大な眺めをゆっくりお楽しみ下さい。三輪崎の町を過ぎると国道42号線を歩く箇所もありますので車には充分注意してお楽しみ下さい。



スタート地点までのアクセス

玄関口となる「新宮駅」へは、大阪方面から直通の特急列車を利用するのが便利です。また名古屋方面からも「新宮駅」まで直通の特急列車がごぞいます。名古屋方面からは本数が少ない為、運転時刻等を確認して下さい。熊野速玉大社へは「新宮駅」から徒歩20分弱です。



このコースの歩き方

●ハイキング前日に新宮市内で宿泊し、翌日歩いていただくのが一般的です。新宮市は寺町通りと呼ばれる寺社町や、神倉神社をはじめとする歴史的見所のほか、紀南地区の政治・経済・文化の中心地です。ハイキング前日は、文学散歩や食べ歩き等で楽しみたいいただくのが良いでしょう。

標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。新宮市内で宿泊し、翌日歩きました。)

熊野速玉大社	10分	新宮城跡	10分	阿須賀神社	20分	浜王子（王子神社）	50分	金光稻荷神社	15分
(鯨山見跡に立ち寄り熊野灘の眺めを満喫)									
三輪崎駅	35分	佐野一里塚	8分	佐野王子	15分	宇久井駅	25分	小獅子峠	15分
(駅でトイレ休憩)									
(駅待合室で昼食休憩:お弁当)									
浜の宮王子	35分	補陀洛山寺	1分	那智駅	3分				
(中緒ある王子社と補陀洛渡海ゆかりの名刹をゆっくり見学)									

くまのはやたまたいしゃ [熊野速玉大社(新宮市)～那智駅(那智勝浦町) その2]

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 14.8km
標準歩行時間 4時間03分
標準所要時間 6時間15分

熊野速玉大社と熊野那智大社を結ぶメインルート。新宮の高野坂では、古道の雰囲気が色濃く残り展望台から熊野灘の眺めも堪能していただけます。

佐野王子を越え、那智勝浦町に入り小獅子峠、大獅子峠と、2つの小さな峠を越え、熊野那智大社への玄関口とも言える浜の宮王子をめざします。那智浜に近いことから渚の宮と呼ばれ、潮垢離の聖地として知られた浜の宮大神社、補陀洛渡海上人や平維盛入水の遺跡が残る補陀洛山寺は、是非ゆっくりと見学してください。この区間も国道42号線を歩く箇所が多い為、車には充分ご注意ください。



お帰りは

大阪方面へのお帰りは「那智駅」でゴールし、JRきのくに線の普通列車または路線バスを利用して「紀伊勝浦駅」へ。「紀伊勝浦駅」から、JRきのくに線の特急列車に乗り換え大阪方面に戻ります。名古屋方面へは「那智駅」からJRきのくに線の普通列車または路線バスを利用して「新宮駅」へ。「新宮駅」から紀勢本線特急列車で名古屋方面へ戻ります。

■ JR那智駅から大阪方面へ

那智駅 JRきのくに線・普通 紀伊勝浦駅 JRきのくに線・特急 天王寺駅
約5分 約3時間40分

■ JR那智駅から名古屋方面へ

那智駅 JRきのくに線・普通 新宮駅 JR紀勢本線・特急 名古屋駅
約20分 約3時間35分

ご宿泊の方は

お問い合わせ
新宮市観光協会 0735-22-2840
那智勝浦町観光案内所 0735-52-5311

「那智駅」でゴールし、JRきのくに線又は熊野御坊南海バスを利用し、南紀勝浦温泉、湯川温泉等でお泊まりいただくのが一般的です。また、コース途中の宇久井地区に休暇村があります。

標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。新宮市内で宿泊し、翌日歩きました。)

熊野速玉大社	10分	新宮城跡	10分	阿須賀神社	20分	浜王子(王子神社)	50分	金光稲荷神社	50分
三輪崎駅	15分	佐野一里塚	35分	佐野王子	8分	宇久井駅	15分	小獅子峠	15分
大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分
大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分
大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分
大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分
大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分
大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分
大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分
大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分	大獅子峠	15分

【那智駅～熊野那智大社(那智勝浦町)】

歩行距離 7.4km
標準歩行時間 2時間15分
標準所要時間 4時間15分

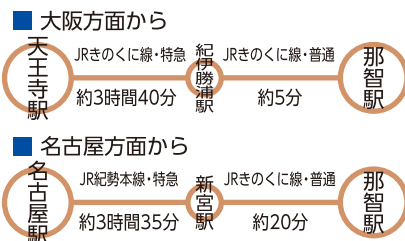
JR那智駅から、那智川沿いに遡り、熊野古道の面影を最も留める大門坂から熊野三山詣で最終目的地、熊野那智大社へ向かう仕上げのコースです。

浜の宮王子、補陀洛山寺を起点に那智川沿いに熊野那智大社をめざします。杉林、竹林に囲まれた気持ちの良い道を進み、尼将軍供養塔から市野々王子へ。そこを過ぎれば程なく熊野那智大社への参道、大門坂、樹齢800年とも言われる夫婦杉をはじめとする見事な杉木立や、苔生した石畳が歴史を感じさせてくれます。熊野三山の一つ熊野那智大社参拜で、熊野詣での旅は、目的達成となりますが、西国三十三観音霊場一番札所那智山青岸渡寺、那智大滝も是非立ち寄りたいスポットです。



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、JRきのくに線の特急列車を利用して「紀伊勝浦駅」へ。ここで普通列車に乗り換えます。また名古屋方面からは、JR紀勢本線特急列車を利用して「新宮駅」へ。ここで普通列車に乗り換えます。南紀勝浦温泉からは「紀伊勝浦駅」からJRきのくに線の普通列車を利用するか、熊野御坊南海バスの便もあります。

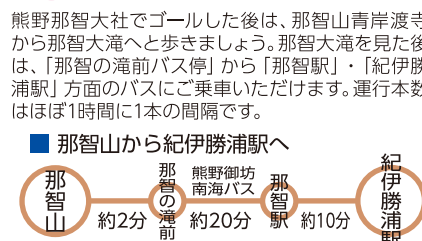


このコースの歩き方

お問い合わせ
那智勝浦町観光案内所 0735-52-5311

このコースは比較的距離、所要時間が短いため、半日あれば充分踏破可能です。1泊2日の行程であれば、1日目の午後又は2日目の午前を使って歩くのが一般的で、その際の宿泊は南紀勝浦温泉、または湯川温泉が便利です。また、1泊2日で新宮市、熊野速玉大社から熊野那智大社まで歩く行程を組むことも可能です。

お帰りは



標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

那智駅	・	・	・	・	浜の宮王子	・	・	・	・	補陀洛山寺	・	・	・	尼将軍供養塔	・	・	市野々王子	・	・
3分										45分				15分			20分		
(補陀洛渡海ゆかりの名刺を見学)																			
大門坂入口	・	・	・	・	多富気王子	・	・	・	・	那智山駐車場	・	・	・	熊野那智大社	・	・	那智山青岸渡寺	・	・
25分					15分					10分									
(途中大門坂茶屋・夫婦杉で休憩)																			
・	・	・	・	・	那智大滝	・	・	・	・	那智の滝前バス停	・	・	・	熊野御坊南海バス	・	・	紀伊勝浦駅	・	・
15分					5分														
(日本一の名瀑を間近で眺める)																			

おおぐもとり
【大雲取越】くまの な ちたいしゃ
熊野那智大社（那智勝浦町）～小口（新宮市熊野川町）

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。（標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。）

歩行距離 14.5km
標準歩行時間 5時間10分
標準所要時間 7時間00分

熊野那智大社・那智山青岸渡寺に参拝の後、妙法、大雲取の山麓に分け入る中に行くがととき厳しい坂道を越え小口の里へ。

西国三十三観音霊場一番札所那智山青岸渡寺裏側の登り口を入るといきなり厳しい石階段が続きます。那智高原、登立茶屋跡を過ぎ、一気にこのコース随一の眺めを誇る舟見峠へと登り詰めます。ここではその名の通り雄大な熊野灘を存分に眺めたいものです。舟見峠からは小刻みなアップダウンを繰り返して越前峠へ。越前峠からは「胴切坂」と呼ばれる急坂を降りて、小口の里へ下ります。厳しい道が続く本格コースですが途中の峠からの眺めや苔生した石仏、石畳等から神秘的な国「熊野」を強く感じ取っていただけることでしょう。



スタート地点までのアクセス

「紀伊勝浦駅」、または「那智駅」から熊野御坊南海バスで「那智山」バス停下車。下車後、熊野那智大社・那智山青岸渡寺まで徒歩約10分程です。

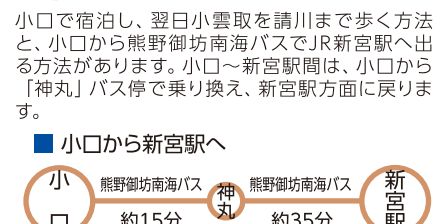


このコースの歩き方

- 熊野那智大社から小口に向かって歩く
前日に南紀勝浦温泉に宿泊し、小口に向かって歩きます。また、那智山周辺の民宿に宿泊する方法もあります。小口に到着後はバスで新宮市に戻る方法と、小口に宿泊し、翌日、小雲取を越えて本宮町請川から熊野本宮大社へと歩く方法があります。
- 小口から熊野那智大社に向かって歩く
前日、小口に宿泊し、熊野那智大社に向かって歩きます。大阪方面に戻られる方は16:00頃までを、名古屋方面に戻られる方は、15:00頃までを目途に熊野那智大社に到着しておく必要があります。

お問い合わせ
新宮市観光協会 0735-22-2840
那智勝浦町観光案内所 0735-52-5311

お帰りは



標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む）

熊野那智大社・那智山青岸渡寺	・ ・ ・ ・ ・	那智高原	・ ・ ・ ・ ・	登立茶屋跡	・ ・ ・ ・ ・	舟見茶屋跡	・ ・
	30分		30分		40分		(雄大な熊野灘の眺めを堪能)
・ ・ ・ ・ ・	色川辻	・ ・ ・ ・ ・	地藏茶屋跡	・ ・ ・ ・ ・	石倉峠	・ ・ ・ ・ ・	越前峠
20分	45分		20分		30分		50分
			(ここで昼食休憩：お弁当)				(険しい山道を登りきり休憩)
・ ・	楠の久保旅籠跡	・ ・ ・ ・ ・	円座石	・ ・ ・ ・ ・	小口		ハイキング終了後 小口で宿泊 翌日は小雲取越に挑戦
	25分		20分				

街道マップ「中辺路大雲取越（熊野那智大社）小口」

小雲取越（P30）

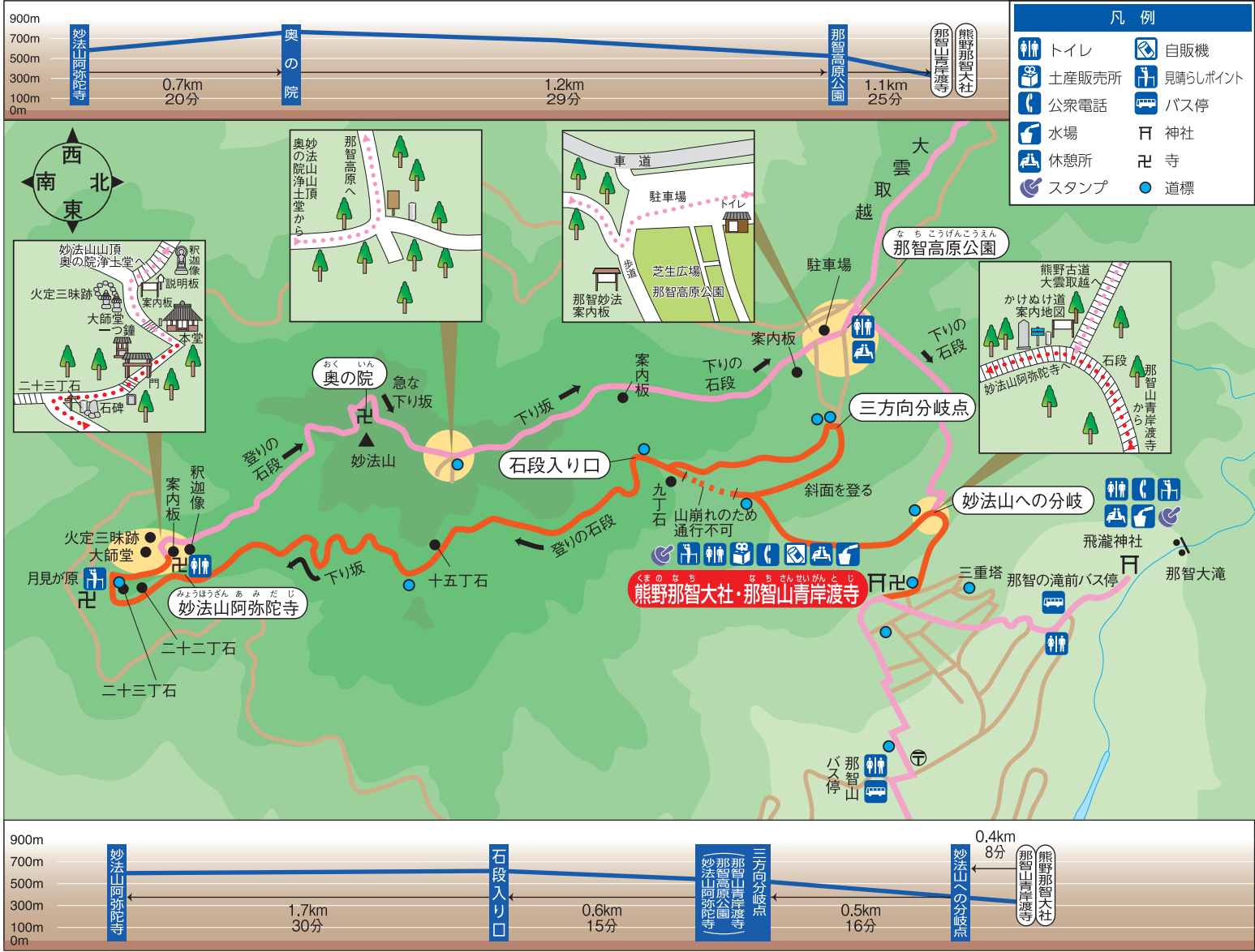
※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

[かけぬけ道 (那智勝浦町)]

歩行距離 6.2km
標準歩行時間 2時間23分
標準所要時間 3時間40分

かけぬけ道は、那智山地区から南平野地区にわたる古道です。山頂には浄土堂があり、俗に奥の院と呼ばれており、奥の院から北に向かう敷道をたどると大雲取越に繋がります。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、JRきのくに線の特急列車を利用して「紀伊勝浦駅」へ到着後、「紀伊勝浦駅」からバスを利用して「那智山」で下車します。

大阪方面から



お帰りは

「那智山」からバスで「紀伊勝浦駅」へ。「紀伊勝浦駅」からJRきのくに線の特急列車を利用して、大阪方面へ戻ります。

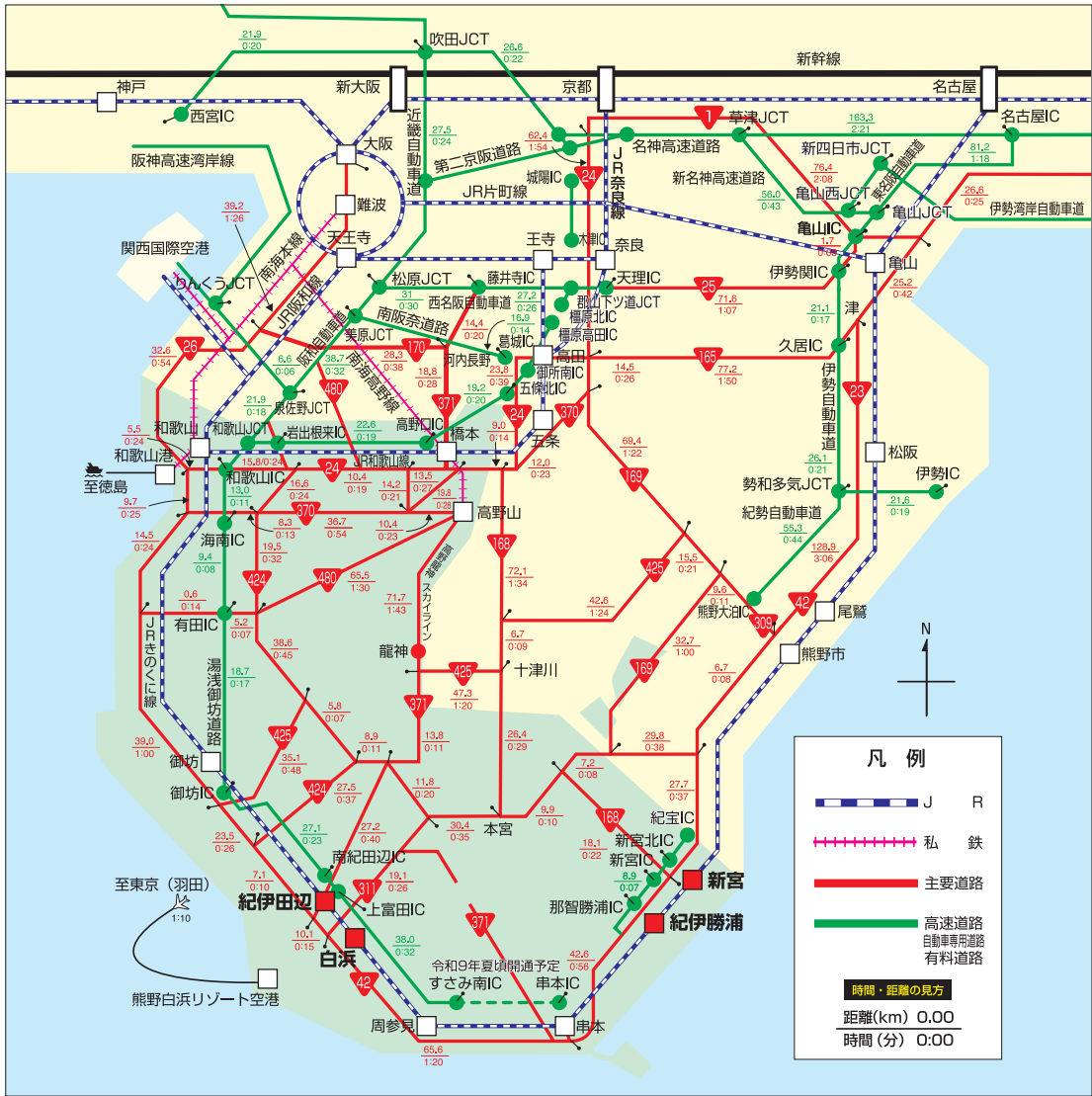
那智山から



標準の歩行記録 (参考行程：見学時間等を含む。)

熊野那智大社・那智山青岸渡寺	・ ・ ・ ・ 妙法山への分岐	・ ・ ・ ・ 三方向分岐	・ ・ ・ ・
	8分	16分	15分
・ ・ 石段入り口	・ ・ ・ ・ 妙法山阿弥陀寺	・ ・ ・ ・ 奥の院	・ ・ ・ ・
	30分	20分	40分
・ ・ 那智高原公園	・ ・ ・ ・ 熊野那智大社・那智山青岸渡寺		
	35分		

熊野古道 [中辺路] アクセスガイド



電車

■JRきのくに線 (特急くろしお号)

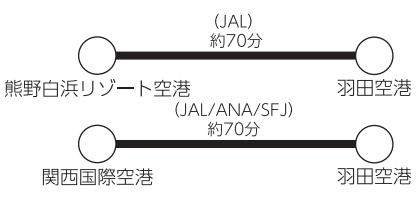


■JR紀勢本線 (特急南紀号)



空路

- 日本航空 (JAL) TEL.0570-025-071
- 全日本空輸 (ANA) TEL.0570-029-222
- スターフライヤー (SFJ) TEL.0570-07-3200



古道への交通アクセス

